



## ◆ 10月からは石綿調査に資格が必要です

令和5年10月1日以降に着工される建築物の解体・改修・各種設備工事を行う場合、建物等の事前調査には資格が必要です。事前調査とは、工事の規模や請負金額にかかわらず、事前に法令に基づく石綿の使用の有無について調査するものです。大気汚染防止法改正に伴い、10月1日からは以下のいずれかの資格が必要になります。

### 一戸建ての住宅、および共同住宅の住戸の内部の工事

- ・特定建築物石綿含有建材調査者
- ・一般建築物石綿含有建材調査者
- ・一戸建て等石綿含有建材調査者
- ・義務付け適用前までに一般社団法人日本アスベスト調査診断協会

に登録され、事前調査を行う時点においても引き続き同協会に登録されている者

※その他の工事の場合は、一戸建て等石綿含有建材調査者以外の3つからいずれかの資格。

工作物の解体・改修工事については、有資格者が行う必要はありません。また、アスベストの使用禁止（平成18年9月1日）以降に設置されたことの確認は、有資格者でなくても行えます。なお、令和5年9月30日以前の解体・改修工事など、有資格者による調査が義務付けられていない解体・改修工事についても、アスベストの有無の調査は必要です。

## ◆ JBN全国会員交流会 2023 in大阪

参加者募集中

詳細はHPをご確認ください。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

### 開催日

【式典・JBN近畿ブロック連携団体活動報告・基調講演・懇親会】  
9月26日（火）13:30～19:00

### 【分科会】

9月27日（水）9:00～15:00

### 開催場所

【式典・JBN近畿ブロック連携団体活動報告・基調講演・分科会】  
大阪府立国際会議場（グランキューブ大阪）

### 【懇親会】

リーガロイヤルホテル大阪

### ●9月26日（火）式典・基調講演・懇親会

13:30-15:05 式典・活動報告

15:35-16:45 基調講演「日本のすまい～土足の限界～」  
井上 章一 氏（国際日本文化研究センター所長）

17:30-19:30 懇親会

オープニングに吉本芸人が登場！  
そして、京都の舞子さんも参加！  
お好み焼き、いか焼き、たこ焼きも出ます！

### ●9月27日（水）分科会

9:00-10:30 第1部分科会 10:50-12:20 第2部分科会

13:30-15:00 第3部分科会

### ●分科会プログラム

第1部分科会	A	中大規模木造委員会	工務店が使える新技術と2025年対応について 講師 飯塚 豊 氏（株式会社アイプラスアイ設計事務所 代表取締役） 講師 齊藤 年男 氏（株式会社細田工務店 理事）
	B	既存改修委員会	工務店の未来と既存改修工事 講師 三澤 文子 氏（有限会社 エムズ建築設計事務所 代表取締役）
第2部分科会	C	次世代の会	新時代へ、地域工務店10年ビジョン～山と繋がり、新たな領域を拓く～ 講師 古川 大輔 氏（株式会社古川ちいきの総合研究所 代表取締役）
	D	環境委員会	高性能住宅が陥りがちな事故事例から学ぶ 講師 久保田 仁司 氏（有限会社第一浜名建築） 講師 古川 繁宏 氏（住まい環境プランニング合同会社）
第3部分科会	E	国産材委員会	どうなる？世界の木材 日本の木材 講師 木村 司 国産材委員
	F	経営問題対策委員会	地域工務店の事業承継実例紹介 講師 吉瀬 融 氏（株式会社 コアー建築工房 取締役会長）

## ◆第16期 第3回 理事会報告

7月28日(金) 14:00~17:00 場所 ビジョンセンター東京 参加者 理事総数20名のうち出席12名、監事総数3名のうち出席3名

第16期第3回理事会が開催され、審議事項である定款の一部改訂についておよび臨時代議員総会の開催について、その他規定類の改定について審議され、承認可決されました。さらに、関連事業者会員入会や外部団体派遣リスト、全国

会員交流会、登録建築大工基幹技能者の経営事項審査への加点、住宅瑕疵担保責任保険・住宅履歴の利用件数、ブロック会議開催日程、ジャパンビルド展、改正建築基準法等(壁量等)の影響などについての報告がありました。

## ◆令和5年度 第1回 連携団体事務局長会議報告

7月27日(木) 場所 ビジョンセンター東京 京橋+オンライン 参加者 52団体・61名

オンラインと実参加による併用式で会議が開催されました。会議では、初めに6月に行われた第16期代議員総会で配布した資料をもとに、第15期の事業報告と収支決算に関する報告と、第16期の事業計画と収支予算の報告を行いました。

事業計画については、JBN主催の講習会や補助事業の詳細と、9月開催のJBN全国会員交流会2023in大阪、全木協が実施する省エネ基準適合化に向けて実際の現場を活用しながら学べる断熱施工現場研修会の概要と参加者応募などについて、説明と質疑対応を行いました。

その後、JBNの理事である青木理事が、2023年7月27日

時点での「4号特例縮小と省エネ基準等について」の説明会を行い、法改正に関しての情報提供と今後の工務店の対応方法をお話いただきました。

最後に、国土交通省 住宅局住宅生産課 木造住宅振興室 横江課長 補佐と佐々木係長をお呼びして、令和5年度地域型住宅グリーン化事業や、こどもエコ住まい支援事業について質疑応答と意見交換を行い、会議は終了しました。



## ◆委員会報告

環境委員会 // 7月24日(月) 13:00~17:00 場所 東京国際フォーラム 参加者 38名

日本女子大学の細井昭憲先生をお招きして、「高断熱高湿度時代に適したエアコンをベースとした空調計画と換気計画」についてお話いただきました。概要は以下の通りです。

- 一般的な問題設定として、高断熱高气密の基準に則り住宅を作ると冷暖房負荷が小さくなってエアコンの効率特性と相性が悪くなる。それでは、どのようなエアコンを選択して運用すべきなのか。
- 熱設計とは熱損失係数、熱容量、熱取得(日射or内部)、排熱(通風)を適切に設定して、ある時間(例えば冬の朝方や夏の日中)の室温もしくは熱負荷をコントロールすること。

- 夏涼しい家(熱容量が大きく、熱損失が大きい)、冬温かい家(熱容量が大きく、熱損失が小さい)を基本計画として最適値を検討する。
- 熱容量計画と運転計画の最適化でエアコンの最大効率運転を実現できる可能性がある。



細井先生のご講演の後、エアコンメーカー(三菱電機(株)、ダイキン工業(株)、パナソニック(株))から新商品等の説明や等級5.6.7新設後の開発計画などについてお話いただき、参加者との意見交換を行いました。

国産材委員会 // 8月1日(火) 14:00~17:00 場所 長谷萬ビル会議室+オンライン 参加者 177名

今回は、国産材委員会として初の取り組みとなる、会場での実参加とZOOMウェビナーでのオンライン参加を併用したセミナーを開催しました。長野県林業総合センター元所長の吉田孝久氏による「木材乾燥を知り、明日から木造建築を考える」と題した、木材乾燥に関するセミナーを実施しました。

木造住宅のクレーム原因のほとんどは、収縮による割れ・隙間・曲がり・そりの発生であり、木材の乾燥が重要な課題です。

現在、建築用構造材においては人工乾燥材の使用率が高く、さまざまな乾燥手法が考案されています。本セミナー

では、高温セット乾燥の第一人者であり木材乾燥を長く研究されている吉田先生に、木材乾燥の基礎から、さまざまな試験結果によるデータをもとにした最新事例まで解説していただきました。「割れは強度に影響するのか?」「背割りは必要なのか?」など、木材乾燥における「なぜ?」がわかる実務的な内容となっています。

本セミナーは、JBN正会員専用ページ内で動画配信をしています。



## 連携団体紹介

Introduction of associated groups

住環境価値向上事業協同組合(SAREX)は、地域工務店の主体的な活動および地位向上を目指し1999年に設立されました。会員社は31社で、1都12県の志の高い工務店が集まり活発な取り組みを展開しています。

組合として力を入れているのが、毎月開催している「工務店力向上ワークショップ」。各会員社へ訪問しての現場見学のほか、ワークショップ形式での勉強会も実施しています。

「会社規模が異なる会員が所属しているため、多様な情報が集まるのが強み」と専務理事の野辺さんが言うように、ワークショップのテーマも技術情報から経営戦略まで多岐にわたり、参加率は毎回8割を超えるなどSAREXを象徴する取り組みとなっています。

## 先進的な工務店が主体となった 情報発信により業界の活性化に注力

住環境価値向上事業協同組合

専務理事 野辺 公一 氏(写真)  
事務局 船水 晴美 氏



また、外部に開かれた活動を多く行っているのも特長。2007年から開始した「木造建築士試験対策講座」では、現在製図対策に特化したオンライン講座を開発しています。一般の人でも参加できる木造建築士の講座は他にあまりないことから、毎年全国から受講者が集まっています。

さらに、「鍛錬塾」と銘打った技術向上のためのプログラムも展開。これまでに現場監督鍛錬塾、設計鍛錬塾を開催してきましたが、今年2023年には団体設立25周年事業として新建ハウジングとコラボした「経営鍛錬塾」も始動。主に工務店の後継者を対象として、良質な家づくりと持続経営を両立する会員社の経営者が講師となり次世代への知見の継承を目指します。

視察と座学がセットになった講義が年4回予定されていますが、去る7月に行われた初回の講義テーマは経営と広報。参加者からは「時間が足りない」「もっと話を聞きたい」といった好意的な意見が多く寄せられました。

木材や資材価格の高騰、職人不足、さらには4号特例縮小が2年後に迫るなど、工務店を取り巻く厳しい状況は続きますが、「各工務店が難局にも対応できる力を身につけられるよう組合も後押ししたい」という思いが、業界の活性化につながることを期待されます。

▶7月にオーガニックスタジオ新潟(株)にて行われたワークショップ。物件の視察も行われた。



## 工務店紹介

Introduction of construction companies

1928年に岐阜県郡上郡(現・郡上市)で創業された鷺見製材。長きにわたり製材業を手がけていましたが、国産材の使用が減少し地元の森が荒れていくなかで「森を守るために地域産材の良さを広めたい」という思いを強くし、1998年より住宅事業に参入しました。

現在は岐阜市に本社を置き、「ひだまりほーむ」という屋号で住宅事業に一本化。新築の着工棟数は年間40棟、またリノベーションも2019年に専門会社を設立するなど好調で、地域工務店として存在感を示しています。

「赤ちゃんがなめても大丈夫」という基準で、国産材や自然素材にこだわった質の高い住宅を提供する同社。一方で、家づくりにとどまらないさまざま

## 「心豊かな暮らし」の提供を目指し 家づくりの枠を超えた多面的な活動

株式会社 鷺見製材

石橋 明世 常務



な取り組みも行われています。

モデルハウスにはカフェを併設し、子供連れにも配慮したメニューを提供。料理教室や子育て講座のほか、無農薬野菜やハンドメイド雑貨などを販売するマルシェも開催。さらには、創業の地でもある郡上には農業体験のできる農園を構えています。

こうした活動を入り口として同社を知り、施主になる人も多いとのこと。「家は日々の暮らしが紡がれる箱。その中で暮らしが豊かなものであってほしい」と石橋さんは言いますが、同社の「心豊かな人生をつくる」という理念が全ての活動の根底にあり、そしてそれらが家づくりに還ってくるという好循環が垣間見えます。

今後力を入れたいのは施設建築。昨年2022年には「医療建築事業部」を立ち上げ、現在は高齢者施設の案件が進行中です。

地域密着で臨機応変に対応できるほか、コスト面での競争力という観点からも工務店が施設建築を手がけることに活路を見出していると話す石橋さん。企業として新しい展開を見据えながらも、「入居者の方には木の温かみや窓から見える緑を感じてほしい」と、住宅同様に豊かな暮らしの提供を目指しています。

▶毎月8日に開催されるマルシェ。こうした活動には、石橋さん自身の子育て経験を生かしたアイデアも反映されている。



## ◆断熱施工実技研修について

2025年にすべての新築住宅・非住宅に省エネ基準の適合が義務付けられます。正しい断熱施工技術が必須となりますが、間違った知識に基づく施工が散見され、それでは設計で求められた断熱性能を満たすことができません。

そこで、全国木造建設事業協会（全木協）では、28都府県（36会場）で建築大工を対象とした「断熱施工実技研修会」を開催しています。

研修会では1畳程度の「実習モデル」を使用して、床・壁・天井の部位ごとの断熱方法・気密確保等に関する正しい断熱施工技術を習得することができます。講研修会当日は、電動丸ノコや丸ノコガイド定規、メジャー、充電式インパクトドライバー、カッターと針、かなづち、ノコギリ、ハンディ墨つぼ、差し金、ペンなどの持ち物を持参する必要があります。実際に施工することで、施工者のレベルアップを図るとともに断熱施工にかかわる疑問や不安を解消します。昨年の参加者からは「疑問が解消された」との声が多く寄せられ、90%

を超える満足度を達成しています。

木造住宅の断熱施工に携わる建築大工であればどなたでも参加が可能です。令和5年度国土交通省補助事業のため受講料は無料で受講でき、修了者には修了証が発行されます。

正しい断熱施工技術は快適な室温、冷暖房費の軽減、家の長持ち、さらには地球環境への貢献にも役立ちます。よりよい断熱性能を実現するため、技術を確かなものにしましょう。

また、実際の新築住宅の現場を活用して断熱施工の実技を学べる「断熱施工現場研修会」もあります。実施期間は令和5年6月～12月。希望現場にて順次開催します。実施申し込みや問い合わせは、JBN事務局までご連絡ください。

「断熱施工実技研修会」開催日時・場所・定員・講習内容などの詳細は、下記のページからご確認ください。



<https://dannetsusekou.kennetserve.jp/>

## セミナー開催のお知らせ（詳細やお申込み方法の確認はHPの開催案内をご覧ください。）

### 「改修版 自立循環型住宅への設計ガイドライン」講習会

IBECsの『改修版 自立循環型住宅への設計ガイドライン』を学ぶ講習会です。このガイドラインは、新築に比べて推計が難しい改修の「省エネルギー効果」について、改修前の建物性能のさまざまな確認方法を示し、エネルギー消費量についても用途分解の考え方や改修前後の削減効果の推計方法を提案しています。



また、実際の改修で多く行われている部分改修における区画熱損失係数や、設計段階で確認すべき内容とその方法を丁寧に取り上げ、改修実務者が省エネルギー改修住宅を設計して効果を推計する際に必要な内容を網羅しています。

省エネルギー改修リフォーム設計・施工を行う方は、ご自身の省エネ設計知識への不安や悩みの解消・スキルアップにぜひ受講ください。

【開催日】全3回 11月10日（金）「自立循環型住宅設計講習会 改修版」  
12月 4日（月）「自立循環型住宅改修版 用途分解の解説」  
12月11日（月）「エネルギー計算とライフサイクルコスト」

【時間】13:30～17:00 【開催場所】オンライン

【講師紹介】岐阜県立森林文化アカデミー 教授 辻充孝氏

【受講料】1名 7,000円（テキスト代・送料込）

【共催】一般財団法人住宅・建築SDGs推進センター

### 第1回 JBN工務店視察研修会 ～山口県「五郷の杜」視察～

JBN会員工務店の中で、設計・営業・性能等の優れている工務店を視察して学ぶ研修会を開催します。

1回目となる今回の研修会は、山口県の地元工務店7社が共同運営する期間限定の住宅フェア「五郷の杜」を視察します。

山口県ビルダーズネットワークに加盟する7社が力を合わせた、各社の特色と技術力を活かした建物全7棟とその取り組みを学びます。

五郷の杜詳細QRコード▶



【開催日】10月24日（火）

【時間】12:00～17:00

【定員】70名（※定員になり次第、締切りになります。）

【対象】JBN会員

【参加費】無料

（※集合場所までの交通費、宿泊費等は各自ご負担となります。）

見学に際し、手袋の持参と靴下の着用が必要になります。

また、写真撮影について、外観は撮影可ですが、内観は撮影禁止となります。ご了承下さい。

## 刊行物のご案内（刊行物のお申込みはJBNホームページをご覧ください。）



### マナーアップハンドブック

#### 【工事現場編】

手帳サイズ 32ページ

挨拶の基本から現場近隣の挨拶まわり、車の止め方、身だしなみ、言葉づかいなど現場マナーの基本をご紹介します。



### 中大規模施工施工管理マニュアル&講習会アーカイブ動画の紹介

A4版 87ページ

（正会員専用ページの動画アーカイブにて動画および資料がご覧いただけます。）

JBNは国土交通省令和3年度環境・ストック活用推進事業の支援により、木造住宅を中心に事業展開する大工・工務店が新たに非住宅木造建築の分野に参入することを想定した、地域工務店向けの「中大規模木造建築物の施工管理マニュアル」を作成しております。PWAで整備されている「構造木工事監理マニュアル」と併せて利用することにより、非住宅建築に求められる安全で高品質な木造建築物が我々の手で確実に施工されることを期待しています。

JBNはさまざまなご相談（技術、法律、支援等）をお受けしております。

ホームページ（トップページの最下欄）のお問合せフォームをご利用いただくか、下記へお問合せください。



【発行・お問合せ】

一般社団法人JBN・全国工務店協会 〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-4-10 京橋北見ビル東館6階

Tel.03-5540-6678 Fax.03-5540-6679 E-Mail:jbn@jbn-support.jp URL:https://www.jbn-support.jp